

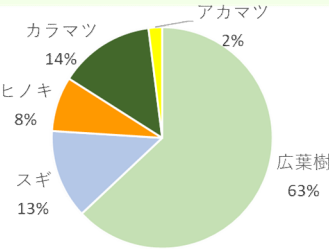
# 「群馬県上野村」：全村！全力！全活用！～脱炭素がつなぎ、脱炭素で輝く地域コミュニティ～

## 1. はじめに（提案地方公共団体の社会的・地理的特性等）

### (1) 社会的・地理的特性

本村は、群馬県南西部に位置し、埼玉県と長野県に接している。人口は1,099人、世帯数は558世帯である。森林率が95%と極めて高く、標高差1,500mの急峻な村を神流川が貫流し、川沿いに小規模集落が点在している。

森林資源を活かし、これまでペレットボイラーは累計出力1,500kW、ペレットストーブは80台、コジェネ設備は1台を導入している。今後は、森林面積の63%を占める広葉樹の活用により、一層の再エネ導入拡大を図る予定である。



### (2) 温室効果ガス排出の実績等

(千t-CO2)

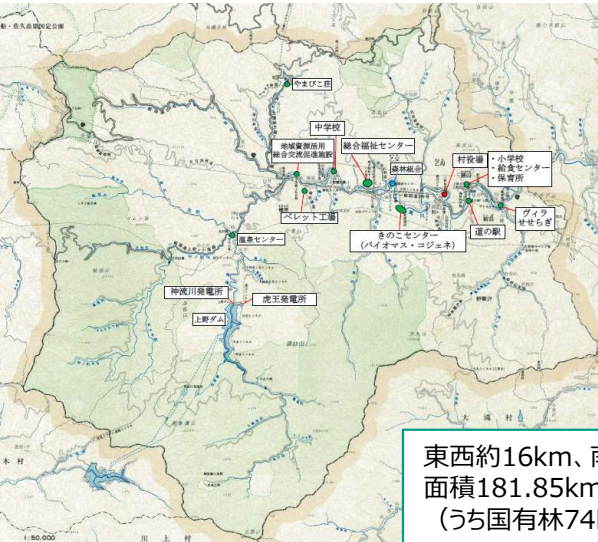
部門	2013年度 (基準年度)	2018年度(最新年度)		2030年度目標		
		2018年度	増減率 (2013年度比)	2030年度	増減率 (2013年度比)	
CO2	産業部門	1.3	1.0	▲23.1%	0.8	▲38.5%
	民生部門	3.8	2.3	▲39.5%	0.8	▲81.6%
	家庭	1.6	1.3	▲18.8%	0.64	▲60.0%
	業務	2.2	1.0	▲54.5%	0.06	▲97.3%
運輸部門	2.4	2.5	+4.2%	2.2	▲8.3%	
CO2以外の温室効果ガス	0	0		0		
温室効果ガス合計	7.5	5.8	▲22.7%	3.7	▲50.7%	

### (3) 地域課題

1. 林業の再生
2. 再エネを活用した災害に強い村づくり
3. 公共サービスの持続
4. 移住から定住へ

## 2-1. 脱炭素先行地域の概要（対象とする地域の位置・範囲、需要家数、民生部門の電力需要量等）

### (1) 対象地域の位置・範囲 上野村の全域



東西約16km、南北約15km、  
面積181.85km<sup>2</sup>  
(うち国有林74km<sup>2</sup>、民有林99km<sup>2</sup>)

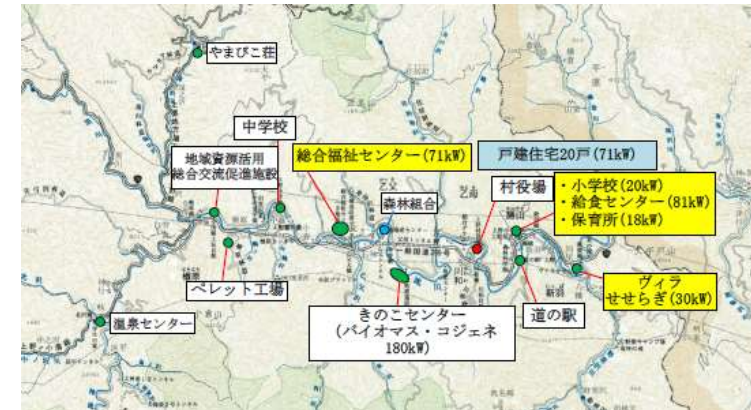
### (2) 需要家数、民生部門の電力需要量

- ・全村の電力需要量 5,008,783kWh
- ・民生部門の電力需要量は、全村の79.3%

	対象	民生部門の電力 需要量 (kWh/年)
エリア規模	181.85km <sup>2</sup>	
需要家数	村営住宅	410,348
	戸建住宅	966,659
	民間施設	176,658
	公共施設	2,418,840
合計	500戸31施設	3,972,505

### (3) 活用可能な既存の再エネ発電設備

- ・全て太陽光発電で公共施設は非FIT電源
- ・設備能力計 291kW、発電量計 324,593kWh
- ・供給方式 全てオンサイト自家消費



## 2-2. 脱炭素先行地域における取組（具体的な内容及び実施スケジュール）

### ○ 民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの主な取組

1. 住宅
  - \* 太陽光発電と蓄電池の設置導入（取組①、⑤）
  - \* LED照明化（取組②、⑥）
  - \* 避難が困難な世帯へのポータブル蓄電池の導入（取組③）
  - \* 省エネ家電への買換支援（取組④）
  - \* 断熱改修（取組⑦）
2. 民間施設
  - \* 太陽光発電と蓄電池の設置導入（取組⑧）
3. 公共施設
  - \* 太陽光発電と蓄電池の設置導入（取組⑨）
  - \* LED照明化（取組⑩）
  - \* 木質バイオマス熱電併給設備の導入（取組⑪）
  - \* 役場新庁舎のZEB化（取組⑫）
  - \* 指定避難所へのV2Hの導入（取組⑬）

### ○ 民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の主な取組

1. EV
  - \* 自家用車、スクールバス及び公用車のEV化（取組⑮、⑯、⑰）
  - \* 次世代型急速充電器を含む充電ステーション（取組⑱）
2. 農業施設への再エネ導入
  - \* 木質バイオマスボイラーの導入（取組⑲）
  - \* 農業用ハウスへのソーラーシェアリング事業（取組⑳）
3. 熱供給設備の導入
  - \* 役場新庁舎の木質バイオマス熱電併給設備による熱供給（取組㉑）
  - \* ソーラー熱温水器の導入事業（取組㉒）
  - \* チップ・薪ストーブ導入事業（取組㉓）

### ○ 実施スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度 (最終年度)
民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロ	取組① 戸建住宅への太陽光発電設備の設置【目標】計254件								
	取組② 戸建住宅へのLED照明の設置【目標】計50件								
	取組③ P蓄電池 計40件								
	取組④ 省エネ家電への買換え支援【目標】計200件								
	取組⑤ 村営住宅への太陽光発電設備の設置促進【目標】計48棟								
	取組⑥ 村営住宅へのLED照明の設置促進【目標】計110件								
	取組⑦ 村営住宅への断熱改修【目標】計140件								
	取組⑨ 公共施設への太陽光発電設備の設置促進【目標】計18件								
	取組⑧ 民間PV計13件								
	取組⑩ 公共施設へのLED照明の【目標】計5件								
	取組⑪ 木質バイオマス・コージェネ計5件								
	取組⑫ 新庁舎ZEB化								
	取組⑬ 指定避難所とEV購入者へのV2Hの設置（設置補助）【目標】計52件								
民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減	取組⑮ 自家用車のEV化（購入補助）【目標】計40件								
	取組⑯ スクールバスのEV化								
	取組⑰ 公用車のEV化【目標】計10件								
	取組⑱ バイオマスボイラー4台								
	取組⑲ 熱供給 1件								
	取組⑳ ソーラーシェアリング 2件								
	取組㉒ ソーラー熱温水器（購入補助）【目標】計98件								
取組㉓ ペレット・薪ストーブ（購入補助）【目標】計80件									

### 3. 脱炭素の取組に伴う地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上等

#### (1) 地域課題と期待される効果

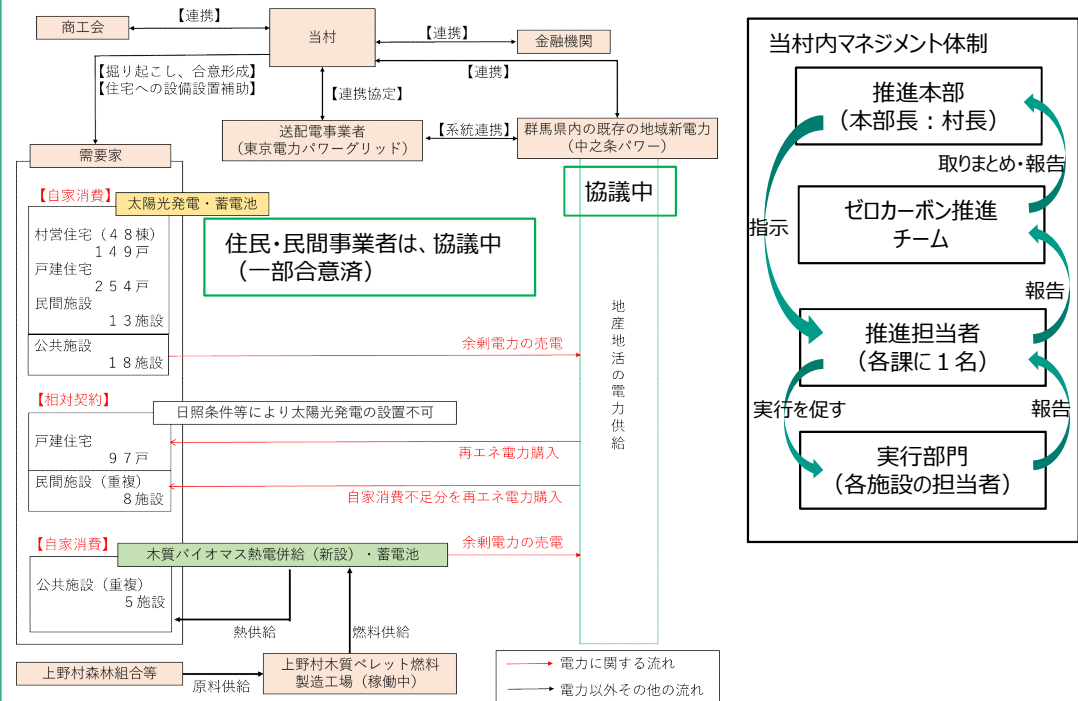
地域課題	期待される効果
<b>林業の再生</b> ・現状の利用に加え、さらに活用できる資源が存在 ・林業振興に伴い増加していく木材・木質バイオマスを全て利活用することが重要	循環型木質バイオマス事業で使用する村内木質バイオマス利用量の増加 (現在) 1,500トン (最終年度) 2,500トン
<b>再エネを活用した災害に強い村づくり</b> ・高齢化率が45%を超える状況で自主防災には限界 ・全村エリアにおける災害に強い村づくりが必要	災害時における停電世帯数の低減 (現在) 270世帯 (最終年度) 77世帯以下
<b>移住から定住へ・公共サービスの持続</b> ・村の魅力度・満足度を上げ、定住へ繋げることが課題 ・エネルギーコストの削減やエコな暮らしにこだわった環境面での取組みのアピール	移住者における定住化率の増加 (現在) 40% (最終年度) 50%以上

#### (2) 他地域への展開

モデル性：全域を脱炭素先行地域とする自治体

- ・屋根の耐荷重で屋根置きが困難な住宅には、**カーポート型**にて太陽光発電を導入
- ・日照条件が悪く太陽光発電の設置が困難な住宅等には、県内の**既存地域新電力と連携**し、再エネを供給
- ・公共施設は施設の電力需要量に応じ、**屋根置き・未利用地活用の組合せ**で太陽光発電を最大導入
- ・**木質バイオマス熱電供給設備**による**電力と熱の総合活用**（余剰電力の観光産業等への活用を含む）

### 4. 関係者との連携体制と合意形成状況等



### 5. 2030年度までに目指す地域脱炭素の姿

